

高梁川流域連携中枢都市圏の各市町ではどんな取組をしているの？

新見市

温室効果ガスの排出削減に取り組むため、2022年2月に「ゼロカーボンシティ」にチャレンジしていくことを表明しました。

公共施設への太陽光発電設備の設置事業、住まいの脱炭素促進事業による再エネ・蓄エネの推進やEV補助・EV用充電設備設置、バイオマス原料配合のごみ袋導入など「2050年二酸化炭素実質排出ゼロ」に向けた、中長期的な脱炭素化への取組を進めています。

【担当】 環境課

【電話】 0867-72-6124



倉敷市

防災・減災対策とあわせ、豪雨等の気候変動の要因と考えられる温室効果ガスの排出削減に取り組むため、2021年6月に「ゼロカーボンシティ」にチャレンジしていくことを表明しました。

特に、家庭、オフィスからの排出削減に重点的に取り組むため、太陽光発電設備やEV等の補助を実施しています。

【担当】 地球温暖化対策室

【電話】 086-426-3394



総社市

近年、地球温暖化により気候変動が起こり、自然災害による被害が深刻化しています。そこで、総社市でも2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指す取組を行うことを宣言しました。

「ライトダウンキャンペーン」や「ゴーヤのカーテン」などの啓発事業や情報発信を行っています。また、EV等の助成も実施しています。



【担当】 環境課

【電話】 0866-92-8339

井原市

環境にやさしいまちづくりを推進するため、省・創・蓄エネ設備を家庭に導入する場合、設備費及び工事費の一部を助成しています。

〈補助対象〉

- ・ 太陽光発電設備
- ・ 定置型蓄電池
- ・ 太陽熱温水器
- ・ EV、PHV、V2H
- ・ 高効率給湯器
- ・ 窓断熱
- ・ 燃料電池システム

【担当】 環境企画課

【電話】 0866-62-9515

高梁市

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すため、2022年6月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

EV・PHVの購入や充放電設備（V2H含む）の設置に対する補助を実施しています。

また、定住を目的とした空き家活用や子育て世帯を対象に、住宅リフォーム（太陽光発電設備、高効率給湯器等の設置）への補助も実施しています。

【担当】 環境課

【電話】 0866-21-0259

笠岡市

笠岡市では、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、環境保全に対する意識の高揚を図るため、エネルギー利用を最適化・効率化（スマートエネルギー化）する機器を導入する市民に対して、補助金を交付しています。

〈補助対象〉

- ・ 太陽熱利用システム
- ・ 定置型蓄電池
- ・ EV（軽自動車のみ）

【担当】 環境課

【電話】 0865-62-3805